

感染症（伝染病）についての対応

- ・感染症（伝染病）にかかった場合は、ただちに医師の診察を受けて下さい。また病後は必ず医師の許可を得てから登園しましょう。（学校保健法施行規則に基づく）
 - ・当園におきましては、身体的に弱いお子さんもおられますので、体調不良のまま登園することは個人の健康面だけでなく集団生活にも影響を及ぼすことがありますので、必ず受診をして下さい。
 - ・登園には、「意見書」または「インフルエンザ・コロナ治癒報告書」の提出が必要です。※1
- ※1 「意見書」「インフルエンザ・コロナ治癒報告書」は医師、家庭、学園への連絡書としての意味を持つものをご理解くださいますようお願い致します。

医師が記入した意見書が必要な感染症

	病名	主要症状	園を休む目安
1	百日咳	特有な連続性、発作性の咳が長期にわたって続く。	特有の咳が消失するまで又は、5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
2	麻疹（はしか）	発熱、結膜炎、鼻水。 口腔内に小さな白斑ができ、2-3日後に全身湿疹出現。	解熱後3日を経過するまで
3	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺（耳たぶの下）の急性腫脹を主症状とする。	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
4	風疹（三日はしか）	熱と共に全身に発疹がでる。 耳後部のリンパ腺が腫れる。	発疹が消失するまで
5	水痘（みずぼうそう）	水をもった赤い発疹が全身にでる。 発熱しない例もある。	全ての発疹が痂皮化するまで
6	咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、結膜炎、咽頭炎を主症とする。 アデノウイルスが原因菌。	主要症状消退後2日経過まで
7	流行性結膜炎（はやり目）	急性結膜炎、眼瞼腫脹、目やになど。	結膜炎の症状が消失していること
8 *	インフルエンザ 治癒報告書が必要	高熱が3-5日続き、頭痛、筋肉痛、嘔吐下痢など伴い、風邪より重症感がある。	発病した後5日を経過し、かつ解熱した後幼児にあっては、3日経過するまで
9 *	コロナ感染症 治癒報告書が必要	倦怠感、発熱、喉の痛み、頭痛などが見られることが多いです。必ずしも発熱が最初にくるとは限らず、喉の痛みだけ、頭痛だけ等もみられています。	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで

*9 コロナ感染症の無症状の感染者は、「検体を採取した日から5日を経過するまで」登園停止となります。

*保護者が記入した治癒報告書が必要な感染症

その他の代表的な疾患への対応の目安

	病名	主要症状	園を休む目安	備考
10	溶連菌感染症	39℃前後の熱、咽頭痛、細かい鮮やかな発疹が出る。	適正な抗菌剤内服後、24時間から48時間経過していること。	
11	手足口病	手のひら、足のうら、口の中に水疱ができる。	発熱や口腔内（口の中）の水疱（みずぶくれ）・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること。	
12	ヘルパンギーナ	発熱と口腔粘膜にできる水疱性の発疹を主症状とする急性のウイルス性咽頭炎。夏かぜの代表的な疾患。		
13	伝染性紅斑	軽度の発熱、倦怠感、筋肉痛、頭痛などの風邪に似た症状と、両頬、腕、足にレースをかけたような、あるいは網状の赤い発疹です。	頬が赤くても、熱や風邪症状がなく普段どおりすごせていれば、学園に行かせてかまいません。	発疹が出た時には、登園可
14	マイコプラズマ感染症	継続する頑固な咳。 胸部レントゲンにてすりガラス状の陰影を認めることがある。	発熱や激しい咳が治まっていること	
15	流行性嘔吐下痢症 (ロタウイルス、ノロウイルス、腸管アデノウイルスなど)	嘔吐と下痢が主症状である。 下痢便が白くなることがある。 時に発熱をとまなう。	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること	症状改善後も便中に7-10日ウイルス排出あり

～病院によって指示が異なることがありますので、わからないときは学園にご相談下さい。～

意見書・インフルエンザ・コロナ治癒報告書は学園に備えてあります。

又、学園のホームページからもダウンロードが可能です。

富山市恵光学園 076-431-5828